

ボランティアだより



特集！

障害者スポーツ体験講座
フライングディスク

第28号
2020.3.1



11月24日(日)に川本地区にあります、埼玉県立深谷はばたき特別支援学校の体育館にて、障害者スポーツ体験講座として、フライングディスクの体験を行いました。実際に全国大会に出場した深谷はばたき特別支援学校の生徒の方やフライングディスク協会の方を講師にお呼びしました。また、ご家族で参加される方や障害児の方も参加されました！

フライングディスク競技にもいくつか種類があり、ディスクの飛距離を競うものや的を当てるものなど様々あり、個人で体験したり、チームを作り、団体戦を行うなど、障害があるなしに関わらずみんなで力を合わせながら大いに盛り上がり、楽しむことができました。

また、フライングディスクで全国大会に出場したはばたき特別支援学校の生徒の方にインタビューをさせて頂き、全国大会の様子などを聞く事も出来ました。今後一層のご活躍をお祈りいたしております。講座前に雨が降っていましたが、終了時には晴れており、学校で飼育しているポニーのメロンちゃんに餌やり体験をすることも出来ました。



目次

特集：障害者スポーツ体験講座

- ・令和元年台風19号災害ボランティアセンター職員派遣
- ・赤い羽根共同募金街頭募金～みんなで一緒にできること～
- ・夏休みボランティア体験プログラム報告
- ・ボランティア保険改訂について
- ・ボラセン棚橋のボソッと
- ・深谷市ボランティア連絡会加入団体の紹介

ボランティア・
市民活動サポートセンター
LINE 始めました



令和元年台風19号被災地へ
東松山市災害ボラセンへ職員派遣!

令和元年台風19号で被災した東松山市に職員を派遣しました。深谷市でも3,000人以上の方が避難したこの台風により埼玉県は大きな被害を受けました。その中で、今回、川の堤防などが決壊してしまい、大きな浸水被害があった東松山市の災害ボランティアセンターに職員を派遣しました。東松山市の災害ボランティアセンターには少しでも力になればと、地元大学生や女性の方、障害のある方など、多くのボランティアが駆け付け復興支援を行っていました。東松山市に派遣された職員は、ボランティア同士と地域住民の繋がりを感じ、皆で力を合わせることや、繋がり大切さを改めて実感したようです。



赤い羽根共同募金街頭募金
～みんなで一緒にできること～



今年度も10月1日から赤い羽根共同募金運動が実施されました。皆様から頂いた募金は地域の福祉施設や保育園などの児童施設の修繕費や車いす購入など地域の様々な福祉に活用されています。

例年、赤い羽根共同募金街頭募金活動では、民生児童委員の方々や、ボランティア団体、ガールスカウトやボーイスカウトの方々、弘済会の方々など多くの方にご協力をいただき、JR深谷駅や道の駅、農産物直売所の街頭で募金活動を行っていました。今回は、例年の募金活動に加え、民生児童委員の方々と市内障害者施設のNPO法人みんなのいえ、しくね育成園、社会福祉事業みらいに通所している利用者の方々が協力し合い、あけと農産物直売所と道の駅おかべにて街頭募金活動を行いました。また、道の駅かわも

とにて深谷たんぼぼ及び第2春日園と川本地区民生児童委員にご協力いただき街頭募金を行う予定でしたが、台風19号の影響で残念ながら中止となってしまいました。

障害者の方々がボランティアとして地域の福祉のためにと手を挙げていただき、気温も暑い中、一生懸命募金活動を行っていただきました。ご協力ありがとうございます。



街頭募金に協力してくださった施設職員Nさんと利用者Yさんに インタビュー

社 協：募金活動ご協力ありがとうございました。初めての募金活動だったようですが、いかがでしたか？

Y さん：初めは、恥ずかしかったけど、またやりたい！

N さん：利用者の方が募金活動に対して、どのように関わっていくのか心配していましたが、民生委員さんの声出しを手本に自発的に声を出すなどYさんや他の利用者の方のすごさに改めて気づかされました。

社 協：皆さんが協力して下さった募金は、地域の福祉施設などの修繕費や災害時にも使われます。

社 協：募金を集めていただいたことで、地域の力になって下さいました。

Y さん：かっこいいね！まさか、募金してくれるとは思わなかった。僕が働いている職場の人も募金をしてくれた。次はもっと声を出せる。

N さん：募金の助成を受けられると、とてもありがたい気持ちでしたが、募金を集める側としても、このような形で協力することができるんだなと思いました。

社 協：ぜひ今後も地域の方々と交流をしながら、協力して地域を支えていただきたいと思います。ご協力ありがとうございました。

学生さんによる夏休みボランティア体験の活動報告☆

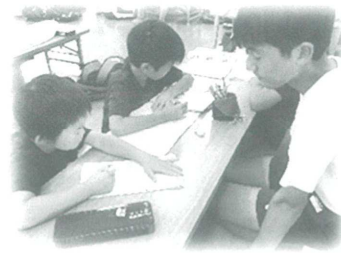
今年度もボランティア活動始めるきっかけとなるように7月～8月の夏休み期間に“彩の国ボランティア体験プログラム”を実施いたしました。本事業では、市内の福祉施設や地域のふれあい・いきいきサロンにご協力いただき、小学生から大学生まで大勢の学生が参加されました。

参加者からは、「色々な世代の人たちと楽しく交流ができ、人との繋がりを実感できた」や「大変有意義だったので今後はさらに活動の場を広げていきたい」等意欲的な感想を頂きました。本事業には普段なかなか体験することができない活動が目白押しです。ぜひ来年度もご参加ください。お待ちしております！



参加人数(延べ)

高 齢	85名(136名)
障 害	50名(69名)
児 童	288名(554名)
サロ ン	39名(40名)
合 計	462名(799名)



ボランティア活動を始める前に ～ボランティア活動保険～

ボランティア活動中のあなたや他の人を守ってくれるのが、ボランティア活動保険です。

※災害時に被災地でボランティアをされる際などにも必要になります。

「ボランティア活動に行く途中で道で転んでケガをした」
「ボランティア活動中に相手にケガをさせてしまった」

など、ボランティア活動には予想もしないケガや事故がつきものです。活動を始める前には必ずボランティア活動保険に加入しましょう。



注意！ プランの改定がありました

基本タイプ・天災タイプにそれぞれAプランとBプランがありましたが、それぞれプランが1つに統一されます。(※保険金や補償内容につきましては、お近くの社協にてご確認ください)

従来の加入プラン

基本タイプAプラン	基本タイプBプラン
350円	510円
天災タイプAプラン	天災タイプBプラン
500円	710円



令和2年度の加入プラン

基本プラン
350円
天災・地震補償プラン
500円

補償期間(保険期間)



令和2年4月1日午前0時から令和3年3月31日午後12時までとなります。

※中途加入の場合でも、加入申請の手続きが完了してから令和3年3月31日午後12時まで

※令和2年度のボランティア保険は、令和2年3月2日(月)から登録を受け付けます

ボラセン棚橋のボソツと・・・

「世は相身互(あいみが)い」ということわざがあります。この世は、人と人が助け合って成り立っているという意味です。赤い羽根街頭募金活動に協力いただいた施設の広報誌の一部に活動内容が載せられており、「今回は少し恩返しが出来て良かったです。地域の皆さんから心温まるお声がけもいただき、今後の活動に対する勇気もわいてきました」と書かれていました。赤い羽根の助成を受けていた施設の利用者が手を挙げて地域福祉の増進に力を貸してくれました。文章の後半には、「感謝の気持ちを忘れずに…」という言葉もありました。これから人と人が助け合って、最後には感謝の気持ちを忘れない、そんな世の中になってほしいと思います。

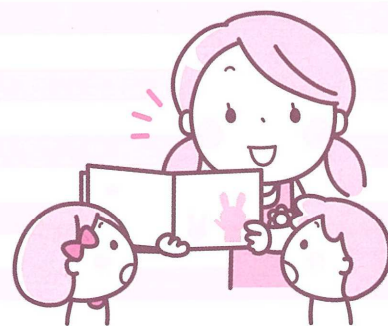


深谷市ボランティア連絡会加入グループを紹介します

ボランティア活動に関心のある方は、社会福祉協議会へお問い合わせください。

(令和2年2月現在)

- ◆あじさいの会
たんぼぼ作業所にて作業の手伝い
- ◆移送ボランティア花園
福祉車両による病院などへの送迎
- ◆泉の会
レクリエーション指導、機能訓練参加の話し相手
- ◆オーバー・フィフティーズ
音楽による地域交流
- ◆介護サポーターズ深谷
家族の介護で悩みを持った方の集い、交流
- ◆ガイドヘルプ「あいハート」
視覚障害者が外出する際の介助
- ◆川本おはなし会
学校や図書館で子どもたちに昔話や紙芝居、絵本などの読み聞かせ
- ◆川本朗読クラブひまわり
川本公民館だよりのテープ吹き込み、福祉施設で対面朗読
- ◆彩の国いなほ会
音楽による施設訪問、地域振興や深谷の環境保全活動など
- ◆精神保健福祉ボランティア アンダンテ
作業所の手伝い、話し相手、イベントの手伝い、スポーツ交流会への参加
- ◆点訳むらさきの会
希望図書の点訳、深谷市内の小・中学校への点字指導、ひとみ園からの依頼図書等を点訳
- ◆動物愛護ボランティアふれ愛の会
老人福祉施設及び児童養護施設でアニマルセラピー、小学生対象に動物介在活動、動物を介在した福祉サービス
- ◆ハーティ・ウィンド・アンサンブル
音楽による市内福祉施設訪問
- ◆はなぞの
幼稚園、小学校、中学校での紙芝居、本の読み聞かせ
- ◆花園おはなしボランティアサーブの会
小学校、幼稚園での読み聞かせ会や朗読会
- ◆深谷運転ボランティアの会
福祉車両による病院などへの送迎
- ◆深谷音訳・朗読ボランティアはなみずき
広報ふかや、市議会だより、社協だより、希望図書などのCD吹き込み、対面朗読、紙芝居
- ◆深谷子どもの本の会
子どもの本を学ぶ。昔話を語る。学校、図書館などでお話し会
- ◆深谷市図書館ボランティアの会
深谷市立図書館での書架整理、各地の図書館見学、その他学習活動
- ◆深谷手話サークルねぎの会
聴覚障害者との手話による交流、手話通訳者の養成活動
- ◆深谷点訳ボランティア
広報ふかや、市議会だより、社協だよりの点訳、希望図書の点訳
- ◆福祉イベントボランティア ひまあり
福祉施設のイベントの手伝い、環境美化活動
- ◆ホームヘルパーふれあいネット
福祉施設の清掃、社会福祉協議会の行事補助
- ◆保育ボランティア「すくすく」
小さな子どもや赤ちゃんのお世話、セミナーや母親学級の手伝い
- ◆ボランティアグループ ふれあい
重度身体障害者が買い物する際の介助、施設行事の手伝い(皆光園)
- ◆みどりの文庫
ふれあいいいきサロン、読み聞かせ、講談社おはなしキャラバンへのボランティア参加



(順不同・敬称略)

問い合わせ先

社会福祉協議会深谷市社会福祉協議会(深谷市本住町12番8号)電話:048-573-6563